

一学校だより 2023年 11月2日 第28号
(令和5年) (NOVEMBER:霜月)

みはらっ子

☆学校教育目標…「 気づく つながる 創り出す 」
～認め合い 学び合い 高め合う児童～ 文責 嵐

第36回・四万十市複式教育研究大会（三原集会）が本校で開催されました

10月25日（水）、令和5年度第36回四万十市複式教育研究大会（三原集会）が、初めて三原小学校で開催されました。当日は、四万十市内で複式学級が設置されている小学校8校の教職員（参加者53名）が一堂に会しました。

まず、全学年が算数科の授業を公開し、次に、「主体的な学びに向かう複式の授業づくり～全校へき地複式教育研究大会を経て～」という演題で、宿毛市立咸陽小学校教頭の田村いづみ先生のご講演を拝聴しました。

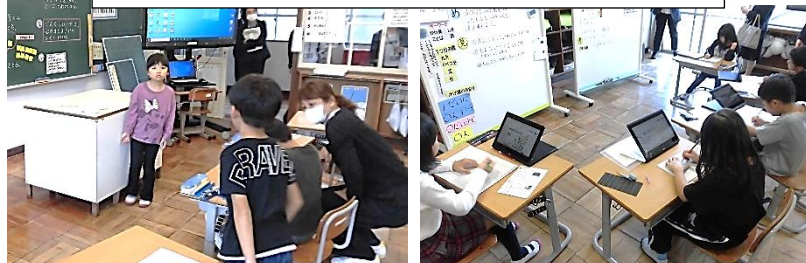
参観者のみなさんより、「児童の皆さんも先生方も生き生きと授業をされていて、学習内容（課題）に対して真剣に取り組もうとする姿にも感心させられました。」「教室環境を見ると、学習の足跡がしっかりあって、良く分かりました。タブレットの活用も定着している様子が見てとれました。」「学習リーダーの子どもが中心となって、子どもたちで授業を進めているという印象でした。分からない子どもが席を立て、自分から友だちに教えてもらいに行く姿がとても良かったです。」といった有り難い感想が寄せられました。また、貴重なアドバイスも頂きました。本校では、四万十市複式教育研究校の一員として、今後も複式教育の更なる実践研究と誰もがわかる授業づくりに取り組んでいきたいと思っています。



ひまわり学級：10のまとまりからとるひき算のやり方をまなびました



1年生：くりさがりのあるひき算の計算の仕方をまなびました



2年生：3のだんの九九をつかったもんだいのつくり方をまなびました



3年生：ものさしで測らずにコンパスを使って長さを比べることを学びました



4年生：タブレットを使って計算のやくそくを調べ、説明することを学びました



5年生：分母の違う帯分数はどのように計算すればよいか共に学び合いました



6年生：比例の関係を使って画用紙の重さや枚数を求めることを学びました



四万十市複式教育研究会について…会の名称は、四万十市複式教育研究会となっていますが、令和3年度四万十市複式教育研究大会の会場校であった大用小学校長の池上先生（当時の複式研会長）から、「様々な研修会や学校行事等が『中央区』という位置づけの中で、三原小学校も一緒に活動してきています。今後、三原小学校も複式学級が編成されることを鑑み、複式研究会でも共に学ぶ機会を設定して、組織の一員として活動していきたい。」というお話がありました。それから、本研究会の規約の一部を見直す中で、本年度の三原集会が決定した経緯があります。

（四万十市教育研究所 所長 藤原先生より）

宿毛市立咸陽小学校教頭 田村先生の講演内容について…田村先生からは、平成29年度中筋小学校において、研究主任の立場で全国へき地複式教育研究大会に取り組んだ経緯を、当時を振り返りながらお話ししていただきました。

取り組んできた成果として、いくつか挙げていただきましたが、その中でも大きかったことは、全教職員が、一つの目標に向かってベクトルを合わせ、単式学級・複式学級関係なく、すべての子どもたちの学びを保障してきたことにより、組織力の向上が図れたこと。そして、その結果として、子どもたちの学力の定着と向上に結び付いたこと等を話していただきました。

当時、複式教育の中でよく言われていた「一人学び」や「とも学び」の充実、「学習リーダーの活用」等々は、時が流れてもバトンは確実に受け継がれ、現在も各学校で取り組まれていることを、本日の三原集会でも再認識できたのではないかと思います。

（「所報 研究所だより 教育・しまんと」令和5年度 No.6より）

10月31日（火）人権教育参観日・人権コンサートを実施しました…保護者のみなさん、ご多用の中、ご参観ありがとうございました。